

製品名: カスパーゼ-6 (703) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe07976**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン (pH 7.4)、0.15M NaCl、40% グリセロール、0.01% 新タイプ防腐剤 N、および 0.05% 保護タンパク質で供給されます。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:20000,IHC 1:100-1:200,ICC/IF 1:100-1:200,FC 1:200-1:1000
分子量	33kDa

抗原情報

遺伝子名	CASP6 Apoptotic protease Mch-2; CASP-6; CASP6; Caspase 6; Caspase 6 apoptosis related cysteine
別名	protease; Caspase 6, apoptosis related cysteine peptidase; Caspase-6; Caspase-6 subunit p11; Mch2;
遺伝子 ID	839.0
SwissProt ID	P55212
免疫原	ヒトカスパーゼ6の合成ペプチド

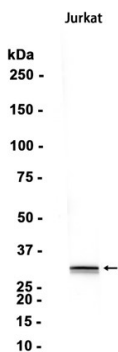
背景

アポトーシス遂行を担うカスパーゼの活性化カスケードに関与する。in vitro においてポリ(ADP-リボース)ポリメラーゼおよびラミン A/LMNA を切断する。過剰発現はプログラム細胞死を促進する。プログラム細胞死、軸索変性、発達、および自然免疫において重要な役割を果たすシステインプロテアーゼ(PubMed:8663580, PubMed:32298652)。アポトーシスの際には核内に局在し、核構造タンパク質 NUMA1 およびラミン A/LMNA を切断することで核の収縮と断片化を誘導する(PubMed:17401638, PubMed:8663580, PubMed:9463409)。さらに、NF- κ B や cAMP 応答配列結合タンパク質/CREBBP など、多くの転写因子を切断します(PubMed:10559921、PubMed:14657026)。リン脂質スクランブラーゼタンパク質 XKR4 および XKR9 を切断します(類似性による)。軸索剪定(神経発生中の軸索のリモデリング)における軸索変性において重要な役割を果たしますが、アポトーシスには関与しません(類似性による)。初期発生中および抗原刺激後の両方で B 細胞プログラムを制御します(類似性による)。さらに、ZBP1 を介したピロプトーシス、アポトーシス、ネクロプトーシス(PANoptosis)などのプログラム細胞死経路の活性化を促進し、ウイルスに対する防御において重要な役割を果たします(PubMed:32298652)。機構的には、RIPK3 と相互作用し、RIPK3 と ZBP1 の相互作用を強化して、ZBP1 を介したインフラマソームの活性化と細胞死を引き起こします(PubMed:32298652)。

研究分野

細胞生物学

画像データ



カスパーゼ-6 (7O3) ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した Jurkat 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。